

平成二十六年九月の作品（九月十二日（金））

於 文京シビックセンター 5階B会議室

人を待つ手持ち無沙汰や秋扇 （一江）

廃線の駅舎を覆ふ蔦紅葉 （隆治）

町毎に御神酒所や秋祭 おみきどころ （正佳）

秋澄みて水また水の郡上かな （正雄）

萩の花寺の小道をふさぎをり （貴美）

涼新た糸を操る鶴匠かな （奉男）

秋晴れや神木のなき椰天を衝き （太郎）

妻と居て心二つの夜長かな （前歩）

木むくげ槿咲く道またまむかえつすぐに魂迎 （孝昭）

せみ骸むくろ仰向けになり大往生 （平六）